

ルノーが20/12期上期業績を発表—格付に下押し圧力

以下は、ルノー（証券コード：-）が7月30日に20/12期上期業績を発表したことに対する株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) ルノーは7月30日に20/12期上期業績を発表した。新型コロナウイルス感染拡大の影響で販売台数が大きく縮小し、営業損益が20億ユーロの赤字となった。また、日産自動車の業績悪化による持分法投資損失の拡大もあり、最終損益は73.9億ユーロの赤字、財務構成も悪化している。20/12期は、コスト削減策の実施により一定の業績改善効果は期待できるものの、世界経済の落ち込みにより収益環境が悪化する中、業績の下押し圧力が高まっている。
- (2) ルノーは5月、日産自動車（証券コード7201）、三菱自動車（証券コード：7211）とともに3社連合の連携強化策を発表した。商品開発や各エリアの生産において重複を避け、3社が自らの強みとする分野に集中し、他の領域は連合の力と支援を活用する。今後、部品や車台の共通化が更に進み、相互委託生産も拡大すると予想される。先行きは、新型コロナウイルス感染拡大の影響を抑え、同連携強化策を通じて効率性向上、投資額削減、競争力強化等の経営改善を中期的に着実に推し進めることも課題となる。JCRでは今後の事業環境の動向に加え連携強化策、およびそれによる当社の業績・財務への影響をフォローし、適宜、格付に反映させていく。

（担当）内藤 寿彦・田村 喜彦

【参考】

発行体：ルノー（Renault）

外貨建長期発行体格付：A- 見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会が定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル